

令和2年度新潟市在宅医療・介護連携推進協議会活動計画

1 設 立 平成27年7月28日

2 委 員 19名

(敬称略・五十音順)

	氏 名	所 属		氏 名	所 属
1	阿部 行宏	新潟市医師会 理事/山の下地域包括ケアネット 代表	11	中川 恵子	新潟県訪問看護推進協議会 常任理事
2	阿部 葉子	在宅ケアクリニック川岸町 ケアマネジャー・MSW	12	中山 裕子	新潟県理学療法士会 副会長
3	池田 貴之	新潟市社会福祉協議会 地域福祉課地域活動支援係 係長	13	成瀬 聡	総合リハビリテーションセンター・みどり病院 病院長 在宅医療・介護連携ステーション中央第二
4	伊藤 明美	新潟市薬剤師会 副会長	14	野本 優二	新潟市民病院 緩和ケア内科部長
5	井上 正則	新潟市医師会在宅医療・在宅ネット運営協議会 委員長	15	平澤 貴典	新潟市歯科医師会 理事
6	小山 弓子	新潟市地域包括支援センターあじかた 管理者	16	宮崎 則男	新潟県介護福祉士会 会長
7	斎藤 忠雄	在宅医療連携拠点事業実施者 在宅医療・介護連携ステーション中央	17	横田 樹也	新潟市医師会 理事
8	鈴木 一郎	新潟大学医学総合病院地域保健医療推進部 副部长・准教授	18	和 澄 徹	新潟市民生委員児童委員協議会連合会 理事
9	豊嶋 直美	山潟地区コミュニティ協議会 会長	19	渡邊 敏文	新潟医療福祉大学 地域連携推進センター長 教授
10	永井 博子	新潟県訪問看護推進協議会 会長			

3 事務局

新潟市保健衛生部地域医療推進課

4 協議会の役割

当協議会は次の事項について意見を述べる。

- (1) 新潟市医療計画の進捗状況、具体策の協議に関すること
- (2) 在宅医療・介護連携の推進のために必要な施策に関すること

5 組織体系

当協議会は「全体会」と「ワーキンググループ」で構成する。

ワーキンググループは、必要に応じて参考人を招致する。

令和2年度 体系図

全 体 会

<協議事項>

- (1) 新潟市医療計画の進捗状況、具体策の協議に関する事
- (2) 在宅医療・介護連携の推進のために必要な施策に関する事

<委 員> 19名 (会長1名 副会長2名 委員)

阿部 行宏 阿部 葉子 池田 貴之 伊藤 明美 井上 正則 小山 弓子
斎藤 忠雄 鈴木 一郎 豊嶋 直美 永井 博子 中川 恵子 中山 裕子
成瀬 聡 野本 優二 平澤 貴典 宮崎 則男 横田 樹也 和澄 徹
渡邊 敏文

在宅医療・救急医療連携ワーキンググループ

<協議事項>

在宅医療・救急医療の関係者間で個人の医療に関する情報や医療・ケアに関する希望などの意思を共有するための連携ルール構築に関する事

<メンバー> 7名 (50音順、○座長)

○横田 樹也 阿部 葉子 宮崎 則男 (協議会委員)
斎川 克之 (新潟市在宅医療・介護連携センター)
澤口 義晃 (新潟市消防局救急課)
原田 宏一 (新潟県弁護士会)
広瀬 保夫 (新潟市民病院救命救急・循環器病・脳卒中センター)

6 スケジュール (令和2年度)

全体会 3回 (9・12・3月)

ワーキンググループ 3回 (6月・11月・2月)

※詳細、協議予定事項は参考資料3のとおり